

**新潟医療センター 消化器病センター長
青柳 豊 先生**

11月10日 消化器病センター スタート!

これからのシーズンは新年会など、お酒を飲む機会が増えると思います。お酒は百葉の長ともいわれ、適量のお酒を贅美した言葉も有る位です。確かに飲酒は気持ちをリラックスさせ、また、食欲増進など良い面が多い事も事実です。しかしながら、飲み過ぎにより色々な病気を引き起こす事が知られています。お酒と病気、今回はあまり知

去年十一月に念願の消化器病センターが開設し、地域の皆様の期待に応える更なる診療体制の強化を図ることが出来ました。今回はセンター長の青柳先生より、お酒を飲む機会が増えるこの時期に合わせまして飲酒についてお話を頂きました。

新年明けましておめでとうございます。

飲み過ぎにご注意 お酒と食道がんとの関係

新潟医療センターニュース

第7号

発行 JA新潟厚生連 新潟医療センター
発行責任者 田中憲一

重要な事は、女性の肝障害を例に取ると、男性の二分の一～三分の二程度の飲酒（飲酒量掛ける期間）で起きて来るという事ですのでご注意下さい。

次に、お酒が強い弱いという言葉を耳にしますが、これはアルコールを代謝する酵素、特にアルデヒド脱水素酵素量の多い、少ないにかかる事です。そして、我々東洋人は生まれつきこの酵素の少ない人が約四十%を占めています。さらに、全く欠損している方もおられ、この方の無理な飲酒は命に関わります。

今回のテーマである食道癌との関係を説明します。先ほどアルコールを代謝するアルデヒド脱水素酵素の話をしましたが、通常ではこの酵素により体に有害なアルデヒドを酢酸（酢）に変え、さらに炭酸ガスと水とへと代謝します。しかし、この酵素量が少ない人、いわゆる、「常習飲酒家」、いわゆる「お酒飲み」といいます。さらには「大」の字が着く「大酒飲み（大酒家といいます）」は五合を十年以上飲む方を指します。しかし、最近では五合を五年間と短く定義しようという動きもあります。ここで注意が必要です。しかしながら、飲み過ぎによ



赤くなる方の飲酒は食道癌を増やすと言うことですので、内視鏡検査を毎年受けて下さい。早期の食道癌は内視鏡治療で治ります。

整形外科 木島靖文

出身：新潟県新発田市
趣味：旅行
抱負：平成26年10月からお世話になってあります。木島靖文と申します。整形外科2年目であり、主に外傷治療を勉強させていただいてあります。リウマチ班志望ということもあります。若輩者ではあります、頑張りますのでよろしくお願い申し上げます。

（裏面もご覧ください）

整形外科 山中佳代

出身：福島県会津若松市
趣味：サッカー
抱負：10月から当院整形外科で勤務しております。ケガ以前の生活に近いところまで復帰できるよう、サポートしていただけたらと思います。宜しくお願い致します。

整形外科 高木 繁

出身：新潟県燕市
趣味：サッカー、フットサル、マラソン、ロードバイク
抱負：整形外科（膝・スポーツ）を専門としており、10月より、その拠点でもある新潟医療センターで研鑽を積む事ができ、日々を楽しく仕事をしております。患者様の日々の生活の質の向上、スポーツへの迅速な復帰を念頭に加療させて頂きます。

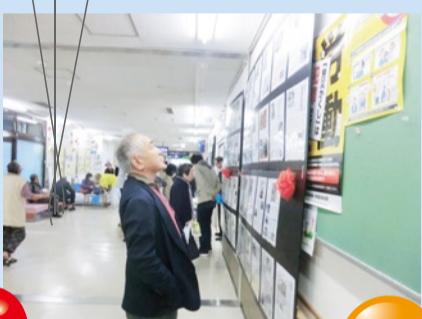
新任医師紹介

この秋赴任致しました 医師をご紹介致します。

地域の期待 病院祭 大盛況!!

手探りで企画した病院祭ではありましたか、大勢の地域の皆さんに来院して頂きました。「健康を考える憩いの場」の第一歩として、消化器病センターを中心とする産科・病理センター等の新たな診療体制をご覧いただきました。病院祭の様子を写真にてご紹介いたします。

初めての病院祭
地域の期待と
職員の底力を実感



明けましておめでとうございます。新年いかがお過ごしでしょうか。初めての病院祭が、大盛況に終わる事が出来ましたのは、皆様のご協力の賜物です。改めて御礼申し上げます。さて、新年の目標は立てましたか？夢をかなえるため目標に向かって頑張っていきましょう。まだまだ寒さは続きます。お体に気をつけてお過ごしください。

(今井)



院内接遇ポスターの力作がそれぞれ二十三の職場から出展されました。地域の輪の中に病院があり、明るい笑顔と挨拶でつながる様子が伝わる金賞作品ではないでしょうか。

